



ほかほか

編集・発行
成田市社会福祉協議会
ボランティアセンター
成田市赤坂1丁目3番地1
TEL 0476-27-8010
FAX 0476-27-1265

ホームページ <http://www.naritashakyo.or.jp/>
Eメール volunteer@naritashakyo.or.jp

「認知症」を学び 地域で支えよう

11月13日
高齢者支援
ボランティア養成講座
を開催しました！



講座終了後に
オレンジリングを
いただきました！



2025年には高齢者の5人に1人が
認知症になると言われています。

認知症キャラバンメイト 澁谷さよ子氏・坂本由紀子氏を講師に迎え、「認知症の人や家族をできる範囲で手助けしたい」という思いのボランティア希望者が23名参加しました。『安心して暮らせるまちをみんなでつくっていくことを目指して』をテーマに、まずは、正しい知識を持つことから…周囲の理解と気遣いがあれば、穏やかに暮らしていくことが可能になるそうです。

さいげなく自然にが一番の支援



こころの
バリアフリーと
「人間杖」が必要



認知症の人と接するときの心構え

「認知症の人に自覚がない」は大きな間違いです
認知症の症状に最初に気づくのは本人です

認知症の人は何もわからないのではありません
誰よりも一番心配なのも、苦しいのも
悲しいのも本人です

Point

● 基本姿勢 ●

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

急がせない

驚かせない

自尊心を
傷つけない

● 具体的な対応の7つのポイント ●

まずは見守る 余裕をもって対応する

声をかけるときは1人で

後ろから声をかけない

相手に視線を合わせてやさしい口調で

おだやかに、はっきりとした話し方で

相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する





「ボランティア」をやってみたい...



「ボランティア」の語源は、「意志」「善意」の意味をもつラテン語の《VOLUNTAS》だといわれています。自分の意志で、誰かをささえるためにすすんでする行動です。他者や社会のために活動することで、充実感や達成感、感動など多くの喜びが得られる点も特徴です。支援や救助をするだけがボランティアではありません。ボランティアする相手と交流しながら活動する、ボランティアもあります。さまざまな人々とかかわるため、ルールを守り周囲と協力し合うことが大切です。また、どうしても続けられない時には、自分の意志でやめることも大切です。



「わたしにもできることはある？」



自分らしさを大切にしながら

興味関心のある分野で



あなたもボランティア活動の一步を踏み出してみませんか



ボランティアは誰にでもある自然な気持ちからはじまる活動です

ボランティアセンターでは、ボランティアを募集している方と、ボランティアをしたい方の架け橋となるよう活動の紹介や相談を行っています。保健福祉館にありますボランティアセンターの窓口や、ホームページでボランティア情報を提供しています。

得意なことや好きなことから...はじめてみよう!



「令和6年度登録」について

令和6年度ボランティア登録の更新を受付中です。4月より年度が変わりますので、ボランティア保険の加入手続きもお願いいたします。新規で登録をご希望の方もご相談お待ちしております。

成田市ボランティアセンター
(平日 9:00~17:00)
TEL 0476-27-8010

LINE



お知らせ

ボランティアグループ「スマホつながり隊」

開催場所はボランティアセンターにお問い合わせください

スマホの使い方教えます!

日時: 毎月第3水曜日 午前10~11時半
場所: 中央公民館 または 保健福祉館

スマートフォンの簡単な使い方を教える活動を月1回行っています。LINEをやってみたい...遠くに離れた家族に写真を送りたい...などご希望に沿ってアドバイスをします。予約は必要ありませんが混雑時はお待ちいただくこともあります。

